

「笑説 越中語大辞典～な」より抜粋

●滑川【なめりかわ】

富山県の難読地名の一つ。日本海の荒波が早月川の河口に入ることから「波入川」(なみいりかわ)。これが訛ったものだが、北条朝時が攻め入った時に鎌倉の滑川(なめりがわ)に似ているとして「滑川」とした。鎌倉の滑川は青砥藤綱(あおとふじつな)が川に落とした十文を、五十文使って拾わせた故事で有名。

甲子園に出場したことがある「滑川」は「なめがわ」と言った。市長は応援メッセージを送ったのだが、直後に富山商業とぶつかることになり、大騒ぎになった。富山商業は滑川に敗退した。

## ●南砺市【なんとし】

福野、利賀、平、上平、福光、庄川、城端、井口の8町村でつくる砺波地域市町村合併でできた市。最終候補に挙がっていた「越南(えつなん)市」、「光南(こうなん)市」、「南砺市」、「八乙女(やおとめ)市」の中から投票で決めた。南砺市は2004年11月に発足。

## ○難読地名

次のような地名が読みにくい(と思う)。「新湊」だって「滑川」だって「砺波」だって、「氷見」だって知らなければ難読だ。難読人名にも通じるので「珍名の街」を参照してください。

- ・綾田町【あいでんまち】(富山市)…
- ・四十物【あいのもの・あいまん】(新湊市)…「四十川」で「あいかわ」という名前もある。「四十物」とは「相物・間物・合物」で塩で処理した魚・干魚の総称。「一とて乾したる魚の入たる俵を取積で」『太平記 七』など。
- ・山女【あけび】(魚津市)…オウム真理教に殺された坂本弁護士の妻・都子さんの慰霊碑がある。
- ・明日【あけび】(宇奈月町)…
- ・芦峠寺【あしくらじ】(立山町)…雄山神社のある場所。
- ・足洗【あつしゃら】(新湊市)…親鸞上人が足を洗ったという故事から。「あしあらい」ともいう。
- ・安室【あづち】(井波町)…
- ・医王山【いおうざん】…石川県との境にある山で地元では「ようぜん」と呼ぶ。石川では「いおうぜん」という。
- ・生地【いくじ】(黒部市)…砂礫地や軟石の地盤を指す「イクチ」からだという。
- ・石動【いするぎ】(小矢部市)…JR石動駅があるが、「石がゆるぐ」能登の石動山(せきどうざん)から来た。
- ・一宿【いちやどり】(入善町)…
- ・今生津【いもづ】(大沢野町)…
- ・岩峠寺【いわくらじ】(立山町)…雄山神社のある場所。
- ・牛ヶ増【うしがませ】(大沢野町)…飛騨街道の途中だったが、急坂が多くなり、荷車を引く牛の数を増やしたことから。
- ・笈ヶ岳【おいずるがたけ】…石川・岐阜・富山の3県にまたがる秘峰。石川県では「おいがたけ」ともいう。深田久弥(加賀市出身)が『日本百名山』の後記に「笈ヶ岳や大笠山を入れたかったが、登頂の機会に恵まれなかったので割愛した」と書いて日本二百名山に入っている。
- ・大玉生【おおだもう】(八尾町)…玉旭酒造の社長で「玉生」(たもう)という国会議員もいた。
- ・下立【おりたて】(宇奈月町)…
- ・御馬出町【おんまだしまち】(高岡市)…東京の「馬喰町(ばくろうちょう)」よりは読みやすいかもしれない。なお、高岡には「博労町(ばくろうちょう)」もあって、恐らく、語源は同じだろう。
- ・皆杓【かいじゃく】(婦中町)…
- ・隠尾【かくりゅう】(庄川町)…
- ・笠破【かさやぶり】(黒部市)…
- ・蟹寺【かんでら】(細入村)…沼に住む二匹の大きな蟹が寺の住職を喰い殺したことから。
- ・蟹谷【かんだん・かんだ】(小矢部市)…蟹谷【かんだ】小学校はメルヘン建築で有名で、正門は学習院女子短大の門、校舎は東京大学教養部、時計台は東京大学教養部、玄関ポーチは東京大学図書館、体育館は一橋大学兼松講堂がモデルになっている。
- ・棚ヶ原【くるみがはら】(大山町)…
- ・黒薙【くろなぎ】(黒部市)…温泉地。
- ・下田【げだ】(上市町)…岐阜には下呂(げろ)がある。
- ・五谷【ごろだに】(砺波市)…
- ・神谷【こんたに】(黒部市)…
- ・東坂下【さこぎ】(八尾町)…
- ・眼目【さっか】(上市町)従来地名は「がんもく」だったのを藩主の前田利常が立山寺(りゅうせんじ)の山号「さっか」を当てたという。
- ・三ヶ【さんが】(高岡市)…
- ・三清【さんきよ】(井波町)…
- ・三清【さんきょう】(福野町)…
- ・三熊【さんのくま】(富山市)…
- ・三女子【さんよし】(高岡市)…通るたびに戸惑う、何だか童話ができそうな地名。
- ・一日市【していち】(福光町)…一の付く日に市が開かれ、「ひとひいち」がなまった。
- ・下仁歩【しもにんぶ】(八尾町)…
- ・蛇喰【じゃばみ】(井口村)…縄ヶ池に住む大蛇がよく人をさらうので、賢いおばあさんが蛇を騙して豆粒大にして飲み込んだことから。
- ・清水【しょうず】(庄川町)…「清水」を「しょうず」と読むのは県内に多い。
- ・城端【じょうはな】(城端町)…戦国末期に荒木氏が城跡に善徳寺を建立したことから。
- ・総曲輪【そうがわ】(富山市)…「富山城を取り囲む外堀の側を総称する意」の「総曲輪」。

- ・ 沢川【そうごう】(福岡町)…
- ・ 沢連【そうれ】(山田村宿坊)…「沢蓮」とも書くらしい。
- ・ 大勤場【だいかんば】(利賀村)五箇山で密かに作らせていた、加賀藩の大事な製品である硝煙をここで勘定して引き渡したことから。
- ・ 手洗野【たらいの】(高岡市)…国吉の近くにあつてドライブしていたとき、とても光って見えた。
- ・ 円池【つぶらいけ】(大門町)…
- ・ 戸出狼【といでおおかみ】(高岡市)…
- ・ 答野島【とうのしま】(高岡市)…
- ・ 任海【とうみ】(富山市)…
- ・ 利屋【とぎや】(高岡市・井波町)…高岡市の旧市街に利屋町という町並みの素晴らしいところがある。
- ・ 利波河【とのご】(福光町)…
- ・ 長走【ながしり】(大沢野町)…
- ・ 半屋【なかりや】(立山町)…
- ・ 下山【にざやま】(入善町)…
- ・ 西田地方【にしでんじがた】…昔は市電の駅もあり、幼かった僕は「にしだちほう」と読んでいた。
- ・ 婦負【ねい】(婦負郡)古くは「めひ」だったようだが、定かではない。姉倉比売(あねくらひめ)神社、鶯坂姉比売(うさかあねひめ)神社、鶯坂妻比売(うさかひめ)神社などに関係があるらしい。
- ・ 沼又【ぬまのまた】(山田村)…
- ・ 苗加【のうか】(砺波市)…「苗加」という姓も砺波には多い。
- ・ 野新【のうしん】(福野町)…「頭痛にノーシン」と関係はなく、ノーシンは脳をシーンと鎮める、あるいはシン＝新しくさせるから。
- ・ 苗島【のじま】(福野町)…姓にもある。
- ・ 勝木原【のでわら】(高岡市)…
- ・ 馬場島【ばんばじま】(上市町)…北アルプス剣岳登山の前線基地。県警山岳警備隊馬場島派出所がある。
- ・ 一刎【ひとはね】(氷見市)…「人を刎ねる」かと思ってびっくりしたことがある。
- ・ 戸破【ひばり】(小杉町)…飢饉の時に雨乞いをしたら、戸を破るような大雨が降ったことから。
- ・ 鶯島【ひよどりじま】(富山市)…
- ・ 福来【ふくらい】(立山町)…
- ・ 古洞【ふるどう】(富山市)…古洞ダムがあり、古洞の森がある。
- ・ 放生津【ほうじょうづ】(新湊市)…今は越の潟というが昔は放生津潟といった。
- ・ 本江【ほんごう】(魚津市・新湊市・滑川市)…特に珍しくはないと思うが…。
- ・ 舞谷【まいのや】(福岡町)…
- ・ 神子沢【みこざわ】(入善町)…
- ・ 鶯谷【みさごだに】(婦中町)…
- ・ 下田【みさだ】(立山町)…同じ「下田」で「げだ」もある。
- ・ 翠尾【みすお】(八尾町)…
- ・ 名ヶ滝【みょうがだき】(小矢部市)…
- ・ 茗ヶ原【みょうがはら】(八尾町)…
- ・ 目桑【めつくわ・めっか】(立山町)…
- ・ 女良【めら】(氷見市)…荒波を「メラメラ」と荒立てる動作が縮まってメラになったという。
- ・ 万尾【もお】(氷見市)…
- ・ 谷内【やち】…姓にも多い。
- ・ 熊野道【やんど】(婦中町)…昔あった熊野神社への参道、熊野道(ゆやのどう)がなまった。
- ・ 四方【よかた】(富山市)…四方晴美(よも・はるみ)というタレントがいて「よも」という人が多いから難読になっている。
- ・ 鼠谷【よめだん】(八尾町)…野鼠の被害が大きくなり、いっそ鼠に「嫁」という名前を当てて懐柔しようとしたことから。谷川健一『続 日本の地名』(岩波新書)でも紹介されている。
- ・ 頼成【らんじょう】(砺波市)…全国植樹祭が行われた頼成の森が有名。
- ・ 竜口谷【りゅうこだに】(利賀村)…百瀬川の支谷。

### ●南日三兄弟

富山の誇る三兄弟で南日恒太郎(なんにち・つねたろう)とその弟、田部隆次、田部重吉をいう。南日は富山市山室の出身で、高等文官試験に合格後、三高(現京都大学)や学習院の教授を歴任し、大正10年に退官し、故郷に帰って著述活動に専念した。英語・英文学の権威者でハーンの東京帝大時代の教え子であり、当時女子学習院で教鞭をとっていた。旧制富山高等学校(富山市蓮町にあった)の設立に際して初代校長に迎えられた。

その弟が田部隆次(たなべ・りゅうじ)でハーンが亡くなった後、節子夫人の相談相手となり、遺作の刊行、全集の出版等の世話をした。

隆次の弟は田部重吉(じゅうきち)で英文学者・随筆家・評論家・翻訳家・山岳紀行家で『山と随想』『忘れえぬ山山』など多数。旧姓は南日、田部家の養子、筆名は南日重吉。東京大学英文科卒業。